

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所（ブローアウトパネル関連設備の設計方針）

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	p.2	(4)建物開口部竜巻防護対策設備（竜巻防護ネット）に以下を追加し適正化しました。 「なお、建物開口部竜巻防護対策設備（竜巻防護ネット）の設計については、添付資料「VI-1-1-3-1 発電用原子炉施設に対する自然事象等による損傷の防止に関する説明書」のうち「VI-1-1-3-1-1 発電用原子炉施設に対する自然事象等による損傷の防止に関する基本方針」に基づき実施する。」	2022/1/20	
2	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	p.4	下記のとおり表現を適正化しました。 （新）オペフロBOPは弾性設計用地震動S dを超える地震で開放すること～ （旧）オペフロBOPは弾性設計用地震動S d以上の地震で開放すること～	2022/1/20	
3	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	p.4	(3) オペフロBOP強制開放装置（自主対策設備）への要求事項に以下を追加し適正化しました。 「なお、強制開放装置は自主対策設備として、原子炉建物原子炉棟からの水素排出を目的に設置されている。」	2022/1/20	
4	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	p.11	5.1 要求機能に以下を追加し適正化しました。 「また、オペフロBOP強制開放装置は、地震時において他設備へ波及的影響を及ぼさないことが要求される。」	2022/1/20	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
5	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	p.16, 17, 18	MSトンネル室BOP詳細設計条件となる地震荷重を床応答スペクトルを踏まえた値に適正化しました。 (新) 0.133kN/m ³ (旧) 0.0062kN/m ³	2022/1/20	
6	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	p.18	(2) a. 設計方針に、以下を追加し適正化しました。 「なお、現場操作時にBOP閉止装置にアクセスできるよう足場を設ける。」	2022/1/20	
7	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	p.19	(2) b. 詳細設計に、以下を追加し適正化しました。 「足場については、BOP閉止装置の機能に直接関連するものではなく、現場操作時にBOP閉止装置にアクセスするための付帯的な設備として設置する。足場は、基準地震動Ssに対して、十分な構造強度を有する設計とし、BOP閉止装置及びオペフロBOPの機能に悪影響を及ぼさない設計とする。」	2022/1/20	
8	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	p.30	BOP閉止装置の単位表記が混在していたため適正化しました。 (新) 台 (旧) 個	2022/1/20	
9	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	p.33	「表7-4 BOP閉止装置加振試験時の加振加速度の測定結果」について、加速度の数値を適正化しました。	2022/1/20	
10	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	p.35	7.3.4 オペフロBOP強制開放装置（自主対策設備）の記載を適正化しました。 (新) ワイヤロープとオペフロBOPを接続し、 (旧) ワイヤロープをオペフロBOPへ取付け、	2022/1/20	